

令和7年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立波多見小学校
(音戸中学校区)

全国平均値との差

	国語	算数	理科
呉市教育振興基本計画(指標)	+6.0	+5.0	
令和8年度	-	-	-
令和7年度	-7.7	-16.0	-8.1
令和6年度	-6.7	-5.4	-
令和5年度	-4.2	-11.5	-
令和4年度	-3.0	-4.4	-1.3

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎・・・各学校 ◇・・・中学校区

<p>国語</p> <p>言葉の特徴や使い方 読むこと 書くこと 話すこと・聞くこと 情報の扱い方 我が国の言語文化</p> <p>本校 59% 全国 66.8% 県 69%</p>	<p>重点課題</p> <p>◎本文を根拠にして自分の考えを書く力に課題がある。 【3三(2)(平均正答率44.0%)】 ◇文章を読む目的を明確にして複数の資料を結び付け、必要な情報を捉えること、伝えたいことの根拠を明確にして書くことに課題がある。</p> <p>改善の方策</p> <p>◎読解時には本文の該当箇所に線を引かせて根拠を明示し、その根拠をもとに意見を書く活動を徹底する。また全教科で「なぜそう思うのか」「どこに書いてあるのか」と問い返す発問を共通化し、根拠を示して書く習慣を定着させる。 ◇丸で囲む、線でつなぐなど複数の資料を結び付けながら読む活動や自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いた文章を互いに読み合い、見直す活動を設定する。</p> <p>検証</p> <p>◎令和7年度全国学力(設問3三(2))(第5・6学年, 2月) 目標70%→結果77% ◇2学期のテストの平均正答率(全学年)が40%未満の生徒の割合 目標0%→結果5%</p>
<p>算数</p> <p>数と計算 データの活用 図形 変化と関係 測定</p> <p>本校 42% 全国 58.0% 県 59%</p>	<p>重点課題</p> <p>◎筋道を立てて理由を説明する力に課題がある。【4(2)(平均正答率20.0%)】 ◇数学的な見方・考え方を働かせ、必要な情報を読み取り、それらを活用しながら筋道を立てて説明することに課題がある。</p> <p>改善の方策</p> <p>◎条件整理の場面では必ず図や表を用いて、考えを可視化させる。その上で答えの発表時には「式だけでなく理由も言葉で説明する」ことを習慣化させるよう、全学年で統一して取り組む。 ◇授業の中で基礎基本の知識を習得する時間を確保する。また、算数・数学で学んだことを生活や学習で活用できるように授業改善を行う。</p> <p>検証</p> <p>◎令和7年度全国学力(設問4(2))(第5・6学年, 2月) 目標70%→結果86% ◇2学期のテストの平均正答率(全学年)が40%未満の生徒の割合 目標0%→結果9%</p>
<p>理科</p> <p>エネルギー 地球 粒子 生命</p> <p>本校 49% 全国 57.1% 県 59%</p>	<p>重点課題</p> <p>◎資料や観察結果から必要な情報を正しく読み取り、科学的に判断する力に課題がある。【2(2)(平均正答率28.0%)】 ◇問題を解決するための方法を発想し、課題・条件を正しく設定しながら調べ、その結果を分析することに課題がある。</p> <p>改善の方策</p> <p>◎授業でグラフや図などの資料を読み取る活動を意識的に取り入れ、「どの情報が必要か」を明示させるとともに、ノートに「資料から読み取ったこと→自分の考え」を書かせることで、資料活用に基づいた説明力を育成する。 ◇自然事象から課題を見つけ、調べる課題とそれを解決するための条件を探りながら整理して、実験を計画させる時間をとる。</p> <p>検証</p> <p>◎令和7年度全国学力(設問4(3))(第5・6学年, 2月) 目標70%→結果78% ◇2学期のテストの平均正答率(全学年)が40%未満の生徒の割合 目標0%→結果2%</p>

【来年度に向けて】

- ・各教科で「根拠・理由・説明」を意識した指導を行い、資料の読み取りや考えを交流する活動を通して、論理的に考え表現する力の向上を図る。
- ・反復練習について、キュビナ等を使って継続的に取り組み、基礎学力の向上を図る。